



八期オンライン日記第95号 (3月号)

2025年3月1日～31日



【巻頭 17年目の八期桜】

安倍

17年前の 記念樹です あんなに大きくなって花が咲くと見事でしょうね。あの日もとても暑かった記憶があります。久しぶりに 55 周年記念誌を 見えています。はちき会は 素晴らしいものを残していると思います。編集してくださった皆さん 改めて見て頭が下がります。今読みますとどの方の文章も素晴らしく 頂いた時 しっかり 最後まで読んだのに 忘れてしまって改めて読んで 感激しております。お亡くなりになった方も たくさんいらして 懐かしはいっぱいです

西山

私は同期の集まりを一期一会だと思っております。ですから、後で後悔しないように担当したときには精一杯の努力をしております。皆様もそうだと思いますが、他の方の準備で参加する時も一期一会の思い出参加させていただいております。同期会とはメンバーが増えない集まりです。去る者残るもの、残るのは思い出だけ、心地良い思い出を残していきたいと思っています。同期とは他にない変えがたい関係といえますか縁に結ばれたものです。これを大切にしていきたいと思っております。

大石

50周年記念に植えた八期の桜も、植えて5年ほどは「八期同期の桜」と呼んでいましたが、どうも満開の咲く美しさより知覧の特攻隊員の遺書や辞世の句によく書かれる「サクラ花散り…咲く桜の散り際の潔さ」などを喚起させる気がして今では八期桜と呼んでいる。あの白い看板がまだ付けた時のように何故か綺麗に目立ってるのが誇らしい。外にも高校の周りにある記念樹には何期、何回卒…などの文字が根元に付いているがどう見てもこの八期プレートがいちばん目立って見える。この前、八期マークの家に QR コードを付けて見たくなった。物好きな学生がスマホでスキャンして八期の HP を見てくれるかも…でも、やめた。

隈元

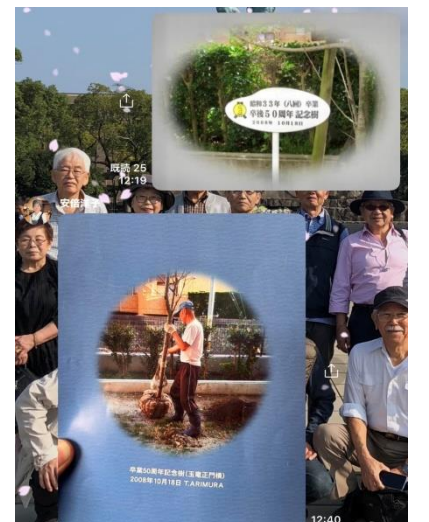
森くんありがとうございます。車免許返上以来見に行けませんが、森くんや大石くんのお陰で毎年、八期🌸を見る事が出来て幸せです。感謝！

祥雄

森さん、桜満開できれいです。ありがとう。ドジャース五連勝頑張っております。勝みなみさん初日は良かったのですが、次回に期待しましょう！

和枝さん

八期桜満開さすが…何でもこなす森さん…ご苦労さん



西山 2/28



田頭敏隆君の訃報には驚きました。笑顔が清々しい人でした。

「潮音1部」読了、26日発行の「潮音2部」読書進行中。

山形屋と市電の絵、懐かしいですね。

市電には思い出がたくさんあります。

五寸釘を線路に置いて、何回か電車に轢かせたり、ピストルに使う紙の火薬を線路に置いたりしました。

花電車は、とても美しかった。

ブレーキをかけるのに、運転手はハンドルを力いっぱい回していた。

ハンドルから手を離すとすごい勢いで元に戻った。

ボギー車の登場で、そのようなことはなくなった。

一時は、百貨店経営の成功事例として紹介されたこともありました。

運動会の時、応援団が手に付けた白手袋、私が山形屋の卸部で安く購入しました。

山形屋でエレベータが動き始めた、上まで乗って行って、大急ぎで1階まで階段を駆け下りました。

また、上まで乗って、階段を駆け下りを繰り返した。

エレベータは、登りだけ乗せ、下りでは乗せなかった。

ユーチューブ動画も楽しく観ました。

よく保存されていたと驚き感心感謝しきりでした。

大石さん 本当にありがとう

あなたは、我々に生きることの大切さ楽しさを与えてくれています。

西山 和宏

木場祥雄



大石さん

今年も 早 二か月 過ぎました。 早いですね！

八期オンライン日記第94号(2月号) 受け取りました。 いつも 編集ご苦労様です。

コピーし、ゆっくり 見ております。

2月号 鹿児島 桜島 雪景色 懐かしいですね！ あまり 見ない景色です。

田頭 敏隆さんが 鬼籍に入られたとか 彼とは 長田中学 3年4組で 一緒でした。 年賀状も交換しておりました。しばらく 途絶えていました。 ご冥福をお祈りしたいと思います。同窓には 安倍 洋子さん(旧姓 窪見さん)も同組でした。

今月号も 甲突川に 石橋 西田橋 を作られた「肥後の石項・岩永三五郎」の記事 素晴らしい橋姿ですね！

懐かしい路面電車 山形屋周辺の景色も懐かしいです。 最近、山形屋が 閉鎖するような記事も掲載されていました。江戸時代から？続いた老舗 お店が なくなることは さみしい 感じします。

時世に 乗れなかったということでしょうか？

今月号も 興味深く 読ませていただきました。 ありがとうございます。

もうすぐ 3月には MLB 開幕戦が 東京で開催される予定 大谷、山本、佐々木選手 出場テレビでの観覧 楽しみです。

木場 祥雄

隈元 3/1pm4:00



大石くん、いつも編集ありがとうございます。

田頭くんの訃報に驚きました。彼とはウマが合っているいろいろな話をした思い出があります。

そして思い出すのは、彼と学校を抜け出して天文館に映画を見に行ったことです。

若尾文子と川口浩主演の青春映画だったように思います。

2、3年前に森くんから田頭くんの住所を教えてもらって、手紙を出したことがありました。

しかし、残念ながら”なしのつぶて”でした。ひょっとしたらその頃から体調が思わしくなかったのでしょうか。

話題は変わって鹿児島市電の思い出です。

たまたま上町線には私もいろいろな思い出があり、以前ブロ友の「やまももさん」(東京出身? で鹿児島経済大学の教授でしたが、残念ながら数年前に亡くなりました)に依頼されて

「鹿児島市電の思い出」というエッセイを書いたことがありました。それを私のブログにも転載したのを思い出したので、参考までにここに披露します。

よろしければ一読ください。

クリックします

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/202112260000/>

3月1日の八期 LINE「豎馬場通り」

森



今朝は8時から2時間かけて明日鹿児島マラソンの通過点になる長田陸橋の草取りを市から依頼されて町内老人会のメンバーで清掃作業に励んできました。あしたはここを9千人近いランナーが走るのだからこちらも

頑張りました。



上山



森さんお疲れさまでした。ランナー🏃が走りやすくなりました。ところでいまきいれ病院の近くの高層ビルは、タワーマンションですか？

森



昨年の鹿児島マラソンの長田陸橋付近の状況です。昨年はタワーマンションを建設途中でした



大石 祐子さん！目立ちますよね!! 多分、貴女もご存知の八反丸病院(リハビリ専門.手術などの医療機関なし)だと思います。



豎馬場通りのシンボリック深いグリーンの病院を取り壊していたのを見ていたので。

その横にある今給黎病院もかんまちと接頭語付きのリハビリ専門病院になりました。

高齢化と共に世の中にはリハビリ専門病院や諸々の高齢者福祉施設の花盛りです。

国の保護(金銭的)を狙いますますます増えて、利用者もどこを選べばよいのか分からず、とうとう、悪質な斡旋業者が

ばっこする社会問題化する時代になりました。元気でいるウチが花🌻🌸🌷

西山



ところで、鹿児島にタワーマンションなんて必要なんですか？地震の時もそうですが、台風でも揺れるんじゃないでしょうか？下水道管破裂で断水でも起こったら大変でしょうね。それでも高見の見物と洒落るでしょうか？

森



この高いビルはマンションで八反丸病院はこの少し先のたてば交差点の角に昨年4月新しく建てられました。旧病院の隣です。

以前に今給黎病院のあった場所には**現在コスモスが開店**しその駐車場から見たもので正面が取り壊し中の旧八反丸病院で左側の建設中のビルは中央公園内にある教育会館がここに移転してきます
こちらが元今給黎病院跡に出来たコスモスです。すぐ隣に例の高層マンションが建っています

安倍



私の妹が7期卒業 昔の 交通局に隣接したところに3階建てのビルに住んでいます。去年 久しぶりに鹿児島に帰りました おりにあの辺りの

あまりの変化にびっくりいたしました。

ホテルあり 素敵なスーパーあり 今 きゅうり 病院の リハビリセンターみたいなところ

もありました。私が一番 東京にいながら 田舎に住んでいるような 錯覚を覚えました。鹿児島市は どんな産業があつて たくさんの税金が入るのでしょうかね。



森



今日見に行ってきましたら旧八反丸病院はほとんど無くなっていました

大石



安倍さん！鹿児島は県も市も貧乏ですよ！そこそこにインバウンドはありますが彼らのカネの落とし場所

もさほどありません。もちろん巨大産業もありません。なのに 確かに街はどんどん成長してるように見える!! 秋に東京で語り合いたいですね。忘れていなかったら♥



西山



クマタツさんの市電に関するブログ読みました。高校時代に早退して映画を見に行ったとか、玉竜に入ってよかったなあと思った。1つは12月1日が映画の日、映画館の割引券がもらえたことです。

森



忘れていましたが私もお堀に電車が転落してから薩摩義士碑前で電車が一旦停車するようになったことを投稿していましたね

南郷



僕は路面電車路面電車のアイコンを見るのが大好きでユウチューブでいろんな国の路面電車路面電車のアイコンみています。鹿児島の路面電車でこんなに盛り上がると思わず嬉しい😊(やった)

森



鹿児島の電車はいろんな車種があつて面白いですね

RE: メールアドレスを教えてください 西山 3月1日 pm4:00



今朝の電話でホッとしています。
下記の方々の姓名とメールアドレスを教えてください
「小川、下池、龍作、上山、斯波、藤崎、小川」東京での集まりは9月中旬

場所を定め案内は6月初め

参加可否返答締め切りは7月中旬よい場所を確保するには2ヵ月くらい前の予約が必要です。

大石 3月2日



小川くんは下に添付。市来くん、斯波さん、上山さん
はパソコン使っていませんね。
根占の中村くんもスマホもパソコンも使用せず難聴の電話だけですが、秘書(スマホ LINE)娘常務さん(LINE)
専用カメラマン(メッセージ)など利用して contact とっています。

古里用幸くんや上田さんなど関西八期は木場祥雄さんを通しますので直接メールなどしたことはありません。

木佐貫さんは指宿メールあります。彼は参加するかもしれません。

小森くんは LINE と電話で連絡出来ますがパソコンはしたことありません。

LINE に木佐貫さんと小川 gmail 送ります。

かおりの休日 1 3月2日 21:18

かなり長い間、体調を崩してしまっていたのですが、ようやく回復



と言っても、まだ、体中のエネルギー値が低くて、低くて。。

きのう二日べ切を過ぎての「公論」の原稿が仕上がりホッとしました。
おかげで、久しぶりに休日のランチを楽しみましたよ。

メニューは我が家特製のフレンチトースト。豆乳とアーモンドミルク
半々で約 800cc。ラカント大匙 4 杯。

塩をひとつまみ。いつもはここでラム酒をたっぷり入れるのですが、
今回は少なめにし、代わりにバニラエッセンスをたっぷり❤️ 一晩冷
蔵庫で寝かせて翌日のお楽しみ😊 バターはなるべく軽いものがお
すすめ。我が家はヨハンのバターを厚めに切って使ってます。

色とりどりのピカールのお野菜をさっと茹でて、きれいなお皿に飾り



付け……。食卓が途端に賑やかになります❤️ 焼くのは主人のお役
目です。中はしっとりがおすすめ。シナモン・パウダーとメイプル・
シロップ をかけて、ちょっとカロリー的には贅沢ですが生クリームで仕上げです。

どうか、皆様、良い休日を



21:14



松富かおりさんの投稿



👍👍👍 32

コメント 2 件

👍 いいね! 🗨️ コメントする 📧 送信 🔄 シェア



👍👍 27

👍 いいね! 🗨️ コメントする 📧 送信 🔄 シェア

鹿児島マラソン VS 東京マラソン 3月3日





3月4日 秋の八期 LINE 同窓会への投稿

3月4日

大石

ひょんなことから今年秋、前倒して『八期の集まり』をお江戸でしましょうと、西山さん主導の LINE グループ『八期東



京歴史グループ』で持ち上がり進行しています。我々『八期ロックンロール』も協力しましょう 🤝 善之助、隆くん、龍作、瑞代さんに典子さん、両ヒロコさんなどまだ健在です。又(はとバスで)25年ぶりの東京を廻りませんか(Surprised) 西山さんが世話してくれる(一昨年で経験した)とのことありがたいです。(あり

がとう)

濱崎



22年前の映像に、嬉しさ楽しさが、一機に甦りました。大石君の八期会の友を愛する気持ちが、身にしみみます。22年前の東京ツアーのシーンの数々を見て、若さが全身にみなぎってまいりました。寅さんの雨あがりの銅像の下に座った木村美子さんが、ずぶ濡れになったスカートに、悲鳴を上げた時、近くにいた古市さんが、上着を脱いで腰に巻いてあげた。とっさに出来ることでは、ないことが出来る人に、武士道、西洋の騎士道を感じました。凛々しい顔の彼にお会いしたい。こんな機会をつくってくさる、西山さん、森君、隈元さん、善ちゃん、永野さん、そして大石君、ご一緒に旅行出来ること楽しみにしています。

平田瑞代



元気に旅が出来る体調なら参加します。楽しみに ! 8期の皆様は本当に前向きで素晴らしい !! 😊

藍子



いいですね～ 私はとても参加出来ないと思います その日その時を こなすことでいっぱいです 元気なうちに出来る事はやりましょう 楽しみです。

西山



浜崎さん、古市さんに先を越されてチヨツしもた。古市さんが、他の人には見られなくなっただけかもしれませんが。古市さんが先導して行われた東京での全国大会は本当に思い出に残る素晴らしいものでした。あれの再現はもう絶対にできません。古市さんお元気ですか？またお目にかかりたいものです。

皆様、大石君そして西山君

9月中旬東京で玉龍八期全員集合の企画、大いに楽しみにしています。

西山君、大石君、幹事役ご苦労さんです。感謝しています。 崎元雄厚



堀田～西山



大石くんから 東京で八期の会をしたらと言う話しがあるとか、2回程言って参りました **i** 本当にやるのなら 秋頃になるでしょうが 毎年やっております 10月10日の日にしてくださったら如何でしょう **?** □ 1

年に1度会えたらと言う 考えでやってます **!** もっと美味しい物を食べる会にしたらとか言う意見もありましたが、とにかく元気に生きていて何とか気楽に集まる のをモットーに集まっています。

何とか10名位です 其れが2回も集まるとなると負担になると思い 人数もバラけます **!** 女の方でも いつも参加だった方でも 肺癌になっている方、術後で体力も無いと言う方、5名も参加出来ないと思います。例えば10月10日でしたら いつも参加して下さる方に何人か堀添くん やらの力で関東で20名位は何とかなりませんか **?** □ 鹿児島やらその他から 何人の方参加出来ますか **?** □ 本来なら、米寿の会が良いでしょうが本当に何人が 残っているかわカラナイですよ **!** 人の寿命は解りません 半分だった年の集まりは本当に楽しく 希望に満ちてましたね(*°▽°) ここまで生かされた命に 感謝しないとならないでしょう **!** 何かやるのなら、宜しく御考慮 御配慮を お願い申し上げます (^-^)/∠※。.:*.:

森



八期通信2月号の編集ご苦労様でした。相変わらずよくまとめられていて感心します。

東京の方では米寿同窓会についていろいろやり取りがあるようですが、10月のころが良いかもしれませんね。ところで私共夫婦で今月17日から1週間東京に行ってきます。

今年エメラルド婚を祝って子供たちが飛鳥Ⅱで横浜港発3泊4日の伊豆諸島巡りクルーズに招待してくれたので 元気を振り絞って参加してきます。

堀田～西山



良く考えてくださいね **!!**

もう少し 最後の会とかで知らせると 女性も何人か

出て来れる方もいるでしょうか **!?** ヤッパリ皆さま、年もあり 堀添くんも2年

続けて大病でしたよね **!** 本当に 気が抜けませんね地方から出て来るのは余計

大変でしょうね(*°▽°) 予定していても、いつ何が あるか解りませんしね **!!**

何人参加出来るでしょう **?** □ 本当に20年位若かったら と、つくづく思いますね

大石くん達は元気そうで 旅行に行ったりしている様ですが、旅慣れ無い人も

いますしね **!** 関東の方も 本当に元気にしているのかと思う人もいますし。

参加の方は、自分を良く考えての上でしょうけども

良く御考慮くださいませ 

宜しく願い致します 

西山くんへ



おはよう😊 昨夜は長い電話でいろいろ貴兄のご苦勞が分かりました。

参加メンバーのことで最近の鹿児島からの八期旅の参加者が激減して女性はゼロ男だけで5名ほどです。それでそう答えました。

つらつら数えてみたら連絡する必要のある人数は多いです。ぼくが思いつくままにLINEなどでやり取りしている人の名前をあげてみます。

20数年ぶりの東京大会(と当時は呼称)と考えると何らかの方法で知らせてみたいと思います。90%はLINEなどのSNSで済ませます。4月中には絞れます。

連絡する鹿児島八期会♥ 大石、浜崎、南郷、隈元、森、市来、益崎、永留、小森、小川、満山一朗、木佐貫、永野和枝、平田瑞代、田中ムツ子、...ざっと15名です。(内、7名が固いところでしょうか?)



どらさん(浜崎 隆)玉龍八期 LINEより①



隆

22年前の映像に、嬉しさ楽しさが、一機に甦りました。大石君の八期会の友を愛する気持ちが、身にしみます。



22年前の東京ツアーのシーンの数々を見て、若さが全身にみなぎってまいりました。寅さんの雨あがりの銅像の下に座った木村美子さんが、ずぶ濡れになったスカートに、悲鳴を上げた時、近くにいた古市さんが、上着を脱いで腰に巻いてあげた。

とっさに出来ることでは、ないことが出来る人に、武士道、西洋の騎士道を感じました。

凜々しい顔の彼にお会いしたい。こんな機会をつくってください、西山さん、森君、隈元さん、善ちゃん、永野さん、そして大石君、と一緒に旅行出来ること楽しみにしています。

西山



柴又利根川を渡ると先に野菊の墓があります。そこへ行くことを話し合っている矢先にコロナが起こってしまいました。

そして、柴又でうなぎなど川魚を食べさせる「川甚」は潰れてしまいました。世の中の変化は激しいです。日々変化し、行ってみたいと思っている間に、どんどん周りの風景は変化しています。古き良き時代の流れを求めて、またその一方では新しきものを尋ねることもしたいと思っています。

いずれにしても、健康第一足腰が鍛えなければなりません。
我々はエベレスト登山の8号目を過ぎたあたりにいるようなものです。
自分が歩くだけで精一杯、他の人の面倒までは見れません。
元気な人はどんどん先に行ってください。
筋肉は年齢に関係なく鍛えれば強化されます。チェスト行け。

永野和枝



西山さん先程は電源が切れてお話ができませんでした。ごめんなさい。明日お昼に お電話します(♪)

濱崎



二月末、永いこと見なかったスズメを見た。1羽。それ以来、また見ていない。エサの虫がないのか。このあたり、カラスはやたらと多いのに、ツバメなんぞもう、何年も見ていない。


カスミ網は禁止だから、スズメはふえるはずなのに。今年は、春は早い。
もう竹の子も食べたし、落のとうの苦みも味わった。
なのに、スズメは！ ツバメは！ 春は、まだ先か。
でも、朝は熟睡して起こされるまで床の中。春眠暁を覚えず。もう、春なのに、春ですよ ！

西山 9日



各家庭から出されるゴミにはしっかりネットがかけられています。そのためカラスはいなくなりました。雀は少しだけ見かけています。

去年の春先、3月末か4月の始める頃、庭にある桃の木は桃は少ないけれども、花はたくさん咲きます。そこへメジロがやってきます。メジロは花の蜜を吸います。かなり以前はそのような時期に鶯の声が聞こえました。

ペットとして飼われていた南国の鳥  が解き放たれ、夜明け前に群れをなして飛んでいます。

早朝の鳥、虫を食べる。
アリーバードイート、ワームス。
早起きは3文の得。

森



濱崎会長の落のとうを食べたという投稿を見て我が家にも落があったことを思いだし庭に出て探してみたらすでにトウが立っていました。

余り好きではないので良かったです。



森



外出のたびに花苗を買ってくるので庭先は春爛漫になっています

南郷



森君宅の花壇をみているとすっかり春の匂いを感じます(春)浜崎会長西山両氏のトークをみてますがまったくそのとうりで近くの緑地公園も夕方になるとスズメが何処から帰って来るのか(?)公園内は鳴き声でやかましい位でしたが最近では滅多に見る事はありません。

たまに鳩が少しスズメが 10 羽位みかけますがガラスは最近見ません。

燕の巣など何処をさがしても無いような気がします。

春が間近に近づいていますが異常気象は自然界ばかりか生き物の生活件迄変わって来て居るみたいです。



大石

ところで『早起きは三文の徳』を中国の友人と深読みしたら...

西山



江戸時代も将軍綱吉の頃ですけれども生類哀れみの令がありました。

朝起きて家の前に犬の支払いがあったら 3 文の罰金でした。

そこで早起きをして家の前に犬の死骸があったらよその家の前に持っていきました。

そうすることによって 3 文も得をしました。



森

三文は今のいくら位になるのでしょうか？

西山



江戸時代もインフレが激しくて時代時代で貨幣価値は変化したと思います。

でも落語から言えばかけそばか何かが 8 文、按摩上下 16 文であったと思います。

いずれにしても 3 文は大した額ではありませんでした。

それでも払うのは嫌だと言うことで、早起きをして犬の死骸をよそへ移したということでしょう。

1 両 1 分 1 朱 1 貫 1 文などの換算は 10 進法ではなく、2 枚で 1 両 4 枚で 1 両 8 枚で 1 両 16 枚で 1 両謎と大変ややこしいものでした。

算盤は主にその換算のために使用されたようです。

昭和 33 年 3 月 31 日をもって尺貫法は終わりを告げメートル法に転換しました。

森



我々の高校時代までは尺貫法が通用していたのですね。
そういえば当時は豚肉を百匁買ってきてと母に言われて買いに行っていました。

西山



長田中学に女性の体操の先生がいました。活発な明るい先生でした。
みんな 16 貫と呼んでいました。
さて、16 巻は何キロでしょう森繁さん早めの回答をお願いします

森 60 キロ？

西山 正解で一す

米 1 俵が 60kg です。米 1 俵は玄米で 40 枡。1 俵を担げるようになれば 1 人前と言われます。

西山

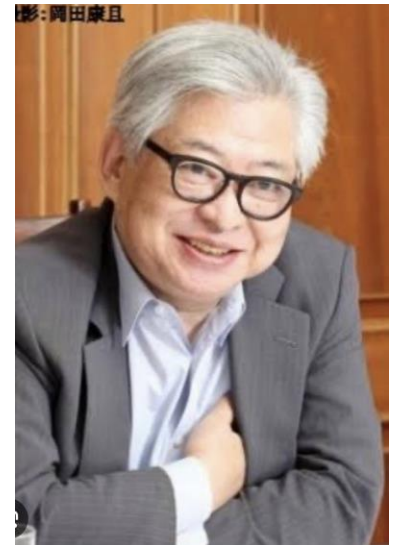


今月のTOPIX 「最後の陸軍二等兵」は戦争責任を追及し続けた

読売新聞グループ本社代表取締役主筆の渡邊恒雄が、昨年 12 月 19 日、「昭和 100 年」「戦後 80 年」を目前にして死去した。各紙誌やテレビ、インターネットのニュースなど様々なメディアには「終生一記者」「政界への影響力」「球界のドン」「メディアの独裁者」といった言葉が掲げられ、それぞれの立場から死亡記事や追悼文が書かれていた。

実際に渡邊は多様な貌を持っていたと言えるが、今回私は、「歴史家」としての渡邊を語りたい。渡邊はジャーナリストであることを超えて「歴史家」であった。それはどういうことか？

死亡記事を読みながら、私の脳裏には別の光景が浮かんでいた。それは、渡邊がリュックサックに火薬を詰め込んで、相模湾から上陸してくるアメリカ軍戦車に体当たりする特攻訓練をさせられる、1945(昭和 20)年の姿であった。2025/02/09 「最後の陸軍二等兵」は戦争責任を追及し続けた 読売新聞グループ本社代表取締役主筆の渡邊恒雄が、昨年 12 月 19 日、「昭和 100 年」「戦後 80 年」を目前にして死去した。



各紙誌やテレビ、インターネットのニュースなど 様々なメディアには「終生一記者」「政界への影響力」「球界のドン」「メディアの独裁者」と いった言葉が掲げられ、それぞれの立場から死亡記事や追悼文が書かれていた。

保阪正康氏 ©文藝春秋 渡邊は 1926 (大正 15) 年に東京府で生まれている。太平洋戦争で最も多くの死者を生んだ 1922 (大正 11) 年 から 1924 (大正 13) 年生まれの「戦争要員世代」よりわずかに下であるが、本土決戦時に「特攻要員」として命 をなげうつ役割を強いられていた世代に属する。

高校で校長らを襲撃

渡邊は開成中学から旧制東京高校に進み、その時期すでに反軍国主義的な意志を育んでいたという。

時局に迎合して突如「東京高校は陸軍幼年学校である」などと訓示するようになった校長の哲学者・藤原正ほか、軍国主義を鼓吹する教官、体操教師、生徒監を、1 年生 11 月の記念祭のときに襲撃し、首謀者の一人として退学願を書いた。



すると、同級生や上級生、襲撃に関わっていない者も含めて 47 人が「私が殴りました」と名乗り出て、連判状を書いて退学願を出したというのである。

大人数になったため学校側も手出しができなくなり、渡邊は無罪放免となる。

このエピソードを私は対談の際に渡邊から直接聞いたのだが、その表情からは、無責任な軍国主義体制への怒りと、それに対峙した学友同士の結束を改めて確認するような感触が伝わってきた。

私との対談で、旧制高校時代を回想したあと、渡邊はこう言っている。

《中学時代から「軍人勅諭」を暗唱しろなんて言われたが、そんなばかなことはやる必要がないと思って、読んだこともなかった。

／「軍人勅諭」や「戦陣訓」で説かれていることは、下の者は上の者に絶対に抵抗してはいけない、

上の者は下の者をいくらぶん殴ってもいいということに尽きます。そういう精神風土が日本軍全体にあり、みんな徹底的にそういう暴力的なしごきを受ける。

兵というのは「1 銭 5 厘」、どこで殺そうが死のうが構わないという人命軽視の哲学——哲学なんて立派なものではないけど——から、特攻とか玉砕という思想が出てくるんですね》

（『戦争責任』とは何か、『論座』2006 年 11 月号）軍国主義を嫌悪した自らの過去を見つめながら、特攻や玉砕に行き着いた昭軍国主義を嫌悪した自らの過去を見つめながら、特攻や玉砕に行き着いた昭和戦争期の時代精神がいかに非人間的で暴力的であったか、日本の軍事主導体制の本質を射抜く言葉と言える。

1945 年、渡邊は東京帝国大学文学部哲学科に入学した直後に陸軍に召集されて二等兵となり、終戦を迎えた。

戦後、渡邊は共産党に入党している。軍事主導体制の理不尽に直面させられた世代は、戦争を遂行する国の強制力に、知性でも力でも抵抗できないという無力感を味わった。

渡邊が共産党に入党して東大細胞のキャップとして学生運動にのめり込んだのは、国家の専横に拮抗しうる組織的な強力さをそこに見てのことと想像する。だが、やがて渡邊は共産党の画一的な規律を批判するようになり、個人の自由を重んじる新たな組織をつくろうとして、除名された。

このとき渡邊には、戦時中の軍部による暴力的な抑圧と、戦後に革命を標榜した組織がはらむ全体主義的な傾向を、どちらも否定する意志が生まれたと思う。それは、前回論じた、アメリカのビル・クリントン政権で国防長官を務めたマデリーン・オルブライトの軌跡にも通じる。つまり、プラハのユダヤ系の家庭に生まれた彼女は、第二次世界大戦中にナチズムの迫害から逃れてチェコからイギリスに避難し、戦後にチェコに戻ると共産党政権が成立していて、今度はスターリニズムの脅威からアメリカに亡命する。

ナチズムとスターリニズムという 2 つの全体主義を生き抜いたオルブライトは、

歴史を冷徹に見る眼を培っていった。渡邊が辿った道筋は、何よりも日本近現代史のなかの時代経験であったが、それは同時に世界史に通じる一面があった。



共産党から除名されたことで、渡邊はまた、軍事主導体制を否定する拠り所は左右のイデオロギーではないとの見方を身につけていったのではないだろうか。きっかけは「オフレコ破り」読売新聞入社後、渡邊は政治部を中心に活躍する。権力側の政治家の懐に入り込む取材手法を取った。

よく知られたのが、自民党副総裁だった大野伴睦との深いつき合いである。大野番となった若き渡邊はある日、他社の先輩記者とともに大野を取り囲んでいた。そこで大野がオフレコと言って話した緒方竹虎にまつわる話を、渡邊はオフレコと断ってデスクに伝える。ところがその内容は翌日の読売新聞のトップに載り、大野は激怒して渡邊を番記者から追放した。

デスクも大野番から変えるからと言うのだが、渡邊は大野のもとに向かい、「私が書きました」と言って謝ると、大野が「お茶でも飲んでいけ」と誘い、2人4250209 戦後80年を前に死去したワンマン主筆.docxは親しくなっていたという。

その後、記事を書いたのは渡邊ではないことを知った大野はさらに渡邊への信頼を厚くして、毎日「渡邊、渡邊」と言うような関係になっていく。



大野は党人派を象徴する泥臭い政治家だった。首相だった岸信介は大野に後継総裁の空手形を切って協力させたうえで約束を反故にし、大野などに総裁をやらせるはずがないとうそぶいたと言われる。

岸のような官僚派のエリート政治家の対極にいる、大衆の肉体感を集約したような存在が大野であった。戦時下にカントの『実践理性批判』を座右の書として軍国主義に対峙した渡邊は、大衆の知恵や義理人情で政治を動かす力を大野に発見して、新鮮な感動を覚えたのではないだろうか。

大野伴睦から政界の機微を学んだ ©文藝春秋 渡邊が一部代筆した『大野伴睦回想録』（弘文堂、1962年）は、大野の語りと書き手の筆が渾然一体となり、巻き起こる様々なエピソードがまるで落語のような展開を見せる。《野坂参三君の中共行き旅券の問題で、外務省が難色を示したことがあった。困った野坂君は私のところにやってきて、外務省に話してくれという。

共産党とは犬と猿の間柄の私だが、頼まれたのではやむをえない。奔走していると、忠告めいた苦情をいう党員がいた。そこで私は行ってやった。「思想的に赤でない人間を中共にやるのは心配だが、赤の野坂君を赤の国に旅行させても、これ以上アカにはならない。格別、中共行きを騒ぐ必要はないよ」

野に発見して、新鮮な感動を覚えたのではないだろうか。大野伴睦から政界の機微を学んだ ©文藝春秋 渡邊が一部代筆した『大野伴睦回想録』（弘文堂、1962年）は、大野の語りと書き手の筆が渾然一体となり、巻き起こる様々なエピソードがまるで落語のような展開を見せる。

《野坂参三君の中共行き旅券の問題で、外務省が難色を示したことがあった。困った野坂君は私のところにやってきて、外務省に話してくれという。

共産党とは犬と猿の間柄の私だが、頼まれたのではやむをえない。奔走していると、忠告めいた苦情をいう党員がいた。そこで私は行ってやった。「思想的に赤でない人間を中共にやるのは心配だが、赤の野坂君を赤の国に旅行させても、これ以上アカにはならない。



格別、中共行きを騒ぐ必要はないよ」大野は 1890（明治 23）年、岐阜県に生まれた。明治大学在学中に護憲運動に関心を持ち、1913（大正 2）年、桂太郎内閣打倒の暴動に参加して大学を中退、立憲政友会の院外団から身を起こした叩き上げである。

確固たる右派イデオロギーがあるわけではなく、濃密な人間関係をつくりながら、政治的な調整に務めてきた。

困っていると見れば、共産党の野坂参三のために便宜を図ることもあったのであろう。同書で大野は自ら「私はしばしば知性のない浪花節政治家だといわれる」と書き、その風評を肯定したうえで、自分の役割を語っている。

《私は自分の政治家としての使命は、長い政界生活から得た経験をもとにして、議会政治、政党政治が軌道はずさないように、次に保守党が分裂や内争でつぶれないように、党内をとりまとめて行き、かつ官僚政治家が往々にして持つ冷たさに対して、政治や行政に、大衆感覚を、人間的なあたたかさを注入することにあると考えている》大野は「真正保守」というタイプではないが、世間的な情によって絶えず政治のバランスを取るという意味ではやはり紛れもなく保守政治家であり、政治の世界に大衆感覚を持ち込むという点は後の田中角栄に重なる部分もある。

渡邊は戦後政治に影響を与えてきた「人間関係」について、次のように語っている。《僕は日本の戦後史を見たとき、イデオロギーや外交戦略といった政策は、必ずしも絶対的なものではなく、人間の権力闘争のなかでの、憎悪、嫉妬、そしてコンプレックスといったもののほうが、大きく作用してきたと思うんだ》（『渡邊恒雄回顧録』）

人間関係を色濃く反映する戦後政治について語っているが、人間が実践する政治をめぐる普遍的な権力論でもある。渡邊は、世情を集約したような大野の発想と行動が政治を動かしていく作用に魅力を感じ、大野と相互影響する関係をさらに深めていったと思われる。

大野伴睦の戦争体験

『大野伴睦回想録』には、戦時下で大野が軍部独裁によって政治の出る幕を奪われたことに無力感を覚える場面や、敗戦の 1 週間後に日本再建のために政治活動を再開する大野が、復員列車に乗って軽井沢に鳩山一郎を訪ね、鳩山が「敗れることは分かり切っていたが、軍部がもう少し早く目覚めていてくれたら、これほどまでに焦土にならなくてすんだらうに。

これからは国民の力、政党の力を結集することが大切だ」といった考えを述べるのに聞き入り共鳴する姿が描かれている。大野は声を上げて反戦を訴える政治家ではなかったが、無謀な戦争の遂行を苦々しく感じる一人であり、その感性は、戦争を嫌悪する大衆の情に通じていた。

渡邊は、大野のような存在こそが、実は状況を本能的に鋭く捉え得ることを見抜いていたに違いない。1962（昭和 37）年、日韓国交正常化に向けての交渉に際しては、韓国の金鍾泌（キム ジョンピル）中央情報部長と大野の仲介役を務め、会談の現場で大野は傍らの渡邊に細々打診しながら交渉を進めた。このとき渡邊は、国交正常化の方向性を決めた「金鍾泌・大平正芳（外相）メモ」の存在もスクープしている。



その後渡邊は、ワシントン支局長、政治部長などを歴任し、1985（昭和 60）年に主筆兼 論説委員長に、1991（平成 3）年には社長に就任した。記者としての階段を上り、メディア の権力を掌握する過程で、渡邊の心理に渦巻く理想もしくは野心とは何だったのだろうか？

渡邊との盟友関係が知られたもう一人の政治家が中曽根康弘である。読売新聞社主 で原子力委員会の委員長を務めていた正力松太郎の紹介で 1950 年代中頃に会ったの 7 2 5 0 2 0 9 戦後 80 年を前に死去したワノン主筆.docx が最初だという。

「原子力の平和利用」が共通テーマであった。原爆の惨禍を経験したが ゆえに、戦後、右派も左派も「原子力の平和利用」に希望を抱く時代があったとは言え、ここに日本の原発政策の起点があったことは覚えておくべきであろう。 盟友関係は深まり、後に渡邊は、中曽根政権のブレーンとなった。

戦争体験者としての中曽根

中曽根は 1947（昭和 22）年に衆議院議員に初当選し、若手時代は「青年将校」と呼ばれていた。それは舌鋒鋭く、「自主憲法制定」「首相公選制」「戦争責任」などを問う姿勢を指していたのだが、国家主義的な傾向を指摘されることも多かったと思う。

私もそのようなイメージで見っていたのだが、中曽根政権の官房長官として辣腕を振るった後藤田正晴 から、「我々戦争に行ってきた世代の人間は、心中で軍事政治に対して大いなる不満や 批判を持ってきた。中曽根さんもそうなんだと思うことが何度もあったよ」と聞かされて、 世代のなかの普遍的な怒りに気づかされたところがある。

中曽根康弘 96 歳の誕生日祝いで 中曽根は、首相在任中に自らの政治思想とは異なる後藤田を官房長官に置き、1985（昭和 60）年に首相として初めて行った靖国神社公式参拝を翌年からは取りやめた。

1987 年、海上自衛隊の掃海艇のペルシャ湾派遣を検討したときには後藤田の反対を聞き入れて 断念している。首相退任後は、『天地有情 五十年の戦後政治を語る』や『自省録 歴史法廷の被告として』（新潮社、2004 年）など、何冊かの回想録を刊行。

さらに、太平洋戦争については一貫して「日本の侵略戦争」であり「間違った戦争」との認識を表明し続けた。中曽根の戦争 への怒りやそれを申し送りする意志は、群馬県高崎市で彼が主宰する「青雲塾」の 50 周年記念講演をしたとき、中曽根と食事をしながらじっくり語り合い、より強く確かめることができた。

渡邊と中曽根を結びつけたことの一つは、思想的な何かと言うよりも、戦争体験 者の本能的な歴史観だったのではないか。 渡邊の呼びかけで、1994（平成 6）年、読売新聞は「提言報道」として「憲法改正試案」を 発表した。これに対して、「メディアがやるべきことではない」との批判が激しく起こった。 その批判には理があったし、私は「試案」の内容に全面的に賛同するわけでもなかったが、それでもなおこの試みを評価するのは、「特攻要員」とされた渡邊は、現在の憲法に対して発言する権利があると考えたからだ。



戦争の愚劣を体で知っている彼らには、その役割が歴史から与えられていると思うのだ。現在の日本国憲法は非軍事憲法である。憲法九条は現実によって裏切られており、実際に平和憲法であったことはない。

戦後左派の多くは、非軍事憲法を真に平和憲法にする努力をせずに、「戦後 80 年」という時間のみを絶対化して、平和憲法を至上の価値として戴いてきたのではないだろうか。

それは私には退嬰的な態度に感じられる。平和を唱えることと、政治の現実との齟齬に向き合わないできたことは、戦後の言論空間を歪めたのではないだろうか。私見になるが、非軍事憲法を平和憲法にしていくには、いくつかの構えがあると思う。

(1) 石橋湛山の言う「憲法九条凍結論」。これは湛山自身が詳述していないが、私の理解では、九条は理想であるけれど現実のなかで十全に実行することは難しいので、未来に向けて一度凍結し、具体的な新たな条項によって現実に対応していくことで平和を追求する態度ということになる。

(2) 「活憲」。半藤一利と私は「憲法を 100 年活かす」という主張をしてきた。歴史的遺産でもある憲法をまずは 100 年活かそう、現実にそぐわない場合は条項によって補おうとの立場で、(1) の変奏とも言える。

(3) 「歴史検証」。「昭和 100 年」の冒頭 20 年、つまり 1926 (昭和元) 年から 1945 (昭和 20) 年までの「暴力と戦争の時代」への検証を重ねながら、それへの反省から始まる「戦後 80 年」を捉え直し、非軍事から平和へという流れが世界的趨勢になる努力をする。

(4) 「軍事論」。暴力的な脅威にさらされたときにどうするかなど、軍事をタブー視せずに学びつつ、平和をリアルに再考する。

(5) 「理想論」。憲法前文と九条の非戦、戦力不保持という理想を実現するために、純粹に非戦、非暴力を実践する。渡邊が手がけた「提言報道」による「憲法改正試案」という取り組みは、(1) と (3) と (4) を組み合わせたものである。それは戦後左派が考えずにきたことであった。「憲法改正試案」への思い 読売新聞による「憲法改正試案」(2004 年版) では第 3 章が「安全保障」となっていて、そこには次のように書かれている。



《第一条 (戦争の否認、大量破壊兵器の禁止)

- (1) 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを認めない。
- (2) 日本国民は、非人道的な無差別大量破壊兵器が世界から廃絶されることを希求し、自らはこのような兵器を製造及び保有せず、また、使用しない。 第一二条 (自衛のための軍隊、文民統制、参加強制の否定)
 - (1) 日本国は、自らの平和と独立を守り、その安全を保つため、自衛のための軍隊を持つことができる。
 - (2) 前項の軍隊の最高の指揮監督権は、内閣総理大臣に属する。
 - (3) 国民は、第一項の軍隊に、参加を強制されない》 戦争を永久に認めないという現行の日本国憲法を精神を引き継いだうえで、時代的な要求として大量破壊兵器を禁止し、自衛のための軍隊を認め、文民統制を徹底して軍事独裁への道をあらかじめ防ぐという条文になっている。

ここに戦争の犠牲になった渡邊の世代的な思いが込められていることは確かであろう。その意味においても、この試行は熟考に値するのである。付言しておく、明治期以来、憲法草案の試みは何人かのジャーナリストによって行われたが、憲法改正案を組織的に提起したジャーナリズムはなかった。

戦争責任の検証にこめた思い そして戦後 60 年にあたる 2005 年、渡邊の主導によって読売新聞の連載企画「検証・戦争責任」が開始された。私はゲストスピーカーとして 3 回ほど検証委員会に呼ばれた。

「検証・戦争責任」は、読売新聞というメディアが組織を挙げて昭和の戦争の責任を総体的に問うた画期的なキャンペーンであった。この折に私は渡邊と突っ込んだ話をし、その後、雑誌で対談をする機会もあった。

戦後 80 年を前に死去したワンマン主筆は、対談の際のものである。そのときの対話から、私は、渡邊自身の体験に発する、心身に染みついた戦争への怒りを感じた。私の個人的な体験から言えば、日本近現代史に向き合う者同士の敬意を前提とした、冷静で深い対話ができた。

この連載企画は書籍化され、第 II 巻のあとがきで、渡邊は書いている。《読売新聞主筆たる私自身は今年八十歳であるが、あの戦争の最後の陸軍二等兵として、残酷な軍隊体験は忘れられないし、被害を受けた隣国の怨念も理解できる。

戦後六十年を経て、加害者、被害者はほとんど存在しなくなったとはいえ、まず我が国が、戦争責任の所在を究明、検証し、その政治的、道徳的責任を明らかにしなければ、関係国との歴史的和解が長期にわたって困難となり、相互に得るところ少なく、失うことが多いのみだろう》

ジャーナリズムによる昭和史研究連載を終えての総括的な述懐であるが、渡邊の企画全体への動機であり思いでもあるだろう。「最後の陸軍二等兵」として自分の心身に刻み込まれた戦争体験の痛苦から隣国の恨みに想像力を延ばし、日本の戦争責任を究明し、そして次世代が世界のなかで生きるための新しい価値基準をつくろうとしていると言えた。



「検証・戦争責任」の意義について、二つのことを言っておきたい。一つは、アカデミズムとジャーナリズムの「相互乗り入れ」による達成ということだ。アカデミズムとジャーナリズムでは、アカデミズムが上位にいる位階構造があるが、「検証・戦争責任」は、昭和史研究において、ジャーナリズムがアカデミズムを教化する内実を示したと言えるのではないか。

本来、実証の裏打ちが問われる昭和史研究はジャーナリズム 12 2 5 0 2 0 9 戦後 80 年を前に死去したワンマン主筆.docx が取り組むべきテーマであり、「検証・戦争責任」は、ジャーナリズムの優位を決定づける記念碑的な作業だった。

同時に渡邊は、戦時下のジャーナリズムが軍事主導体制に組み伏せられたことをリアリズムで認識し、その反省のうえに「検証・戦争責任」をスタートさせていた。私がメディアの戦争責任について問うと、「新聞社にとって、戦争というのはやたら儲かるんですね。

部数が増えるので、新聞経営者が戦争謳歌に走った面があるのは否定できない」と言ってから、こう話した。

《低級だったんだな。だから、僕は読売新聞の先輩を尊敬しないし、あの頃の読売新聞を見ると恥ずかしいですよ。信濃毎日新聞の桐生悠々とか、失脚を恐れずに軍国主義を批判した人もいるんだからね。

完全に軍の統制下に入り、紙の配給権を握られてしまった後、権力迎合的になってしまったことには多少同情の余地がある。配給を切られたら、会社が潰れて社員は路頭に迷うんですからね。

しかし満州事変の初期の段階で、「これはよくない」と論陣を張らなかつた責任は大きい》（『戦争責任』とは何か）戦時下の翼賛ジャーナリズムへの渡邊の見方は、近代日本の新聞発達史という地下水脈を押さえたうえで、経営という現実や、戦時下に生活していく難題を踏まえて、そこにシミュレーションとしてわが身を置きながらメディアの抵抗を考えるという流儀で、説得力があった。

「検証・戦争責任」について、もう一つ言えることは、戦争体験全体の検証とその責任の追及は、戦後史において誰かがどこかでやらなければならなかつたということである。

だが戦後 60 年間、ほとんど誰もやらなかった。それをやったのが渡邊が率いる読売新聞だったということだ。

比肩するものはまず東京裁判、つまり極東国際軍事裁判であろう。だが東京裁判は連 合国側が日本の戦争犯罪者を断罪する軍事裁判であり、渡邊は、それは無謬なものではなく、刑が過重な者がいる半面、無謀な戦争に駆り立てながら被告にすらならなかった者もたくさんいると考えていた。

私との対談で、「確かに日本はサンフランシスコ平和条約 第 11 条において、東京裁判の判決を受諾し、刑の執行を約束することを認めた。しかし 日本人自らの手による戦争責任の糾明はまったく行われていない」と語っている。

「日本人自らの手による戦争責任の糾明」が渡邊のテーマだったのである。日本人による戦争責任糾明という意味では、終戦直後に東久邇宮稔彦王内閣の下で 密かに練られた「自主戦犯裁判構想」がある。

詳しくは改めて書いてみたいが、これは実現しなかった。渡邊恒雄と読売新聞による「検証・戦争責任」は、日本人による未完の戦争責任追及を実現した企画であると言えるだろう。「最後の陸軍二等兵」にして「終生一記者」を自称した渡邊恒雄

こうして軌跡と仕事を振り返ると、私の考える渡邊の姿が改めて明確になってくる。

渡邊恒雄とは、戦争に動員され、特攻による死を強制された世代が、自らの体験に落とし前をつけ、戦争を遂行する構造を明らかにし、その責任の全体像を組織的に解明した人物なのだ。

それは稀有なことであった。渡邊は読売新聞、そして日本のジャーナリズムにおいて自らの存在感を増していくとき、戦争責任を徹底的に追及するという大きな野望を抱いていたはずだ。

渡邊はジャーナリズムの頂点に辿り着くことによって、「歴史家」としての巨大な仕事をなし遂げたのである。

「最後の陸軍二等兵」。それこそが「終生一記者」と同じ重みをもって、渡邊の変わらない自己規定であり続けたに違いない。

ライン「玉龍八期会」

メンバーのみなさまへ

西山この告知は、LINE メンバーに出しておりますが、メンバー以外の方でも大歓迎です。ただし、参加希望等はこの LINE または上図にあります。西山のメールアドレスにご連絡のほどお願いします。私の時間的な制約から電話での対応には応じられませんのでよろしくお願い致します。

荒木藍子



西山さん お世話になります 私 荒木藍子です。参加出来ないことでもよろしくお願い致します 大変な仕事？ですね

西山



荒木藍子さん 先ほどはお目にかかったことがないと書きましたが、お目にかかったことがあるのに、私が失念していたのかもしれない。私は関東 8 期の案内をいただいたときにはすべて参加出席しております。いずれかの折にお目にかかっているのかもしれない。しかし、忘れていたことがあれば失礼をお詫び申し上げます。

『ライン「玉龍八期会」』メンバーのみなさまへ

令和 7 年 3 月 7 日
西山 和宏



先ごろ、夏の終わりが秋ごろ、上京するから会食の場所をセットして貰えないかと、鹿兒島の 2〜3 の方からメールを受けておりました。

ところが、この話が、『ライン「玉龍八期会」』(以下ライン)にアップされました。それを見て、関東玉龍八期のパーティが開催されると思われる方がいるようですが、そうではありません。

とはいえ、何か八期の連中の集まりがあるらしい、内容によっては参加したいという方もいらっしゃるかと思います。

いずれ、ラインを通じて、集まりの内容をお伝えしますが、現在、分かっていることは、時期は秋、場所は都内ということだけです。

「折角なら美味しい物を」と求められておりますので、それには応えます。

今のところ何も確定しておりませんが、時期や場所などが自分にとって、都合の良いものであれば、出席したいと思われる方は、このラインに「出席を検討」と氏名と共に、書き込みをお願いします。

一度、出席と言って後で取り消すのは体裁が悪いと思われるのであれば、私宛に「出席を検討」と、mfikazu@tkg.att.ne.jp へメールをください

本件に関する連絡および問い合わせは、すべて「ライン」で行うことにいたします。個別対応はできません。

インバウンドの異常な増加(都内宿泊者 56%外国人)、レストランなどの相次ぐ値上げで、会場設定が困難な状況にあります。

開催の場所、日時、参加費用など、いずれこの「ライン」でお知らせしますが、その前に、「出席を検討」の人数把握が必要です。

1 回目 3 月末までに、お知らせくだされば幸いです。

2 回目 5 月末にも、改めて確認をお願いします。

事前におおよその人数を把握できなければ、準備はできません。最終的な参加有無の確認は、まだまだ先のことですが、今、このようなお尋ねでも早すぎることはありません。

このメールは、開催予告とおおよその参加人数把握のためのものです。

以上

荒木藍子さん。私はちょっと失礼なメールを書いたような気がします。後で福岡在住と言うことを知りまして、それなら面識がないのは当然だと言うことでわかりました。いつか会える日がありますと嬉しいです。お元気にお過ごし下さい。

藍子アンサー



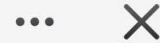
お気遣い済みませんね。ちょっと我が家の事情で八期会にもなかなか参加出来ません。このラインがとても楽しみです。

かおり日記 ②



松富かおり

15時間 · 🌐



**【強硬な海洋進出を続ける中国——日本と豪州は？】
昨日 NHK のニュースを見た人はギョ... もっと見る**



3月14日(金)

強硬な海洋進出を続ける中国——日本と豪州は？】

昨日 NHK のニュースを見た人はギョツとしたのではないかと思う。

2月中旬、中国のフリゲート艦3隻がオーストラリア大陸の周辺海域を時計回りに航海し、その後、実弾を使った訓練をニュージーランドとの間の海域で行ったという。

防衛関係者は「中国から遠く離れたオーストラリアに、攻撃能力の高い最新鋭の戦艦など3隻を向かわせたことは、中国軍の練度が上がっていることを示す。注意が必要だ」と言っていた。

これは、オーストラリアが新たに購入するフリゲート艦11隻の共同開発の相手として日本とドイツが上がっている、というニュースの中で説明された。

貿易立国であるオーストラリアは海洋進出を進める中国に脅威を感じている。

これは、日本も同じだ。

貿易がなければ成り立たない。

しかもエネルギーの約8割、食糧の約6割を輸入に頼る日本にとって、海洋の安全、つまり、シーレーンの確保は命綱なのだ。

現在まで、中国海警局の艦船4隻が、尖閣諸島周辺を115日連続で航行している。

台湾に近い南西諸島周辺での活動も活発になっている。

2月には、台湾南部沖の公海で、予告なしに軍用機32機と軍艦が連動して「パトロール」した後、実弾射撃などの軍事演習を開始した。

中国の国会に当たる全人代では「台湾独立反対」が強調されたばかり。

中国・「習近平の野望」については『明日は戦場にいるかもしれない』で詳しく書いたが、中国の経済がさらに弱さを露呈しているからこそ、中国はより危険なのだ。日本とオーストラリアは、事実上、準同盟国関係にある。台湾侵攻が起これば、まず、中国は台湾封鎖を行うだろう。

日本の南西諸島は否応なしに巻き込まれる可能性が高い。

また、シーレーンの封鎖の範囲によっては、両国とも、輸出入を行う商船を大きく迂回させねばならなくなる。

そうなれば、今とは比べ物にならないインフレが起きる。

また、おそらく南西諸島を支配下に置かれた日本は日本人を守るために介入せざるを得ないし、台湾を守るとしてきたアメリカも参戦。

そこに、オーストラリアが、遅れてイギリスが参戦するというのが最もあり得るシナリオだ。

『明日は戦場にいるかもしれない』では、現在の日本の守備態勢やあらゆるケースが想定してある。



台湾侵攻を止められれば、それが一番良いが、そうでない確率の方がはるかに高い、というのが専門家の見解だ。この場合、最初に触れたオーストラリアとの艦艇の共同開発で日本が選ばれ、部品の融通や補修などが相互にできるようになれば心強い。

◆日本は2016年、潜水艦の共同開発で、フランスに競り負けたが、これは、オーストラリアが、将来的に原子力潜水艦への転換を考えていたためだ。

フランスは技術供与など、最大限のサービスを申し出てこの契約を勝ち取った。武器輸出に反対する野党の方々に問いたい。いざ、中国が本気で牙を剥いてきた時、すでに時代遅れの「武器輸出反対」というスローガンを守る事は、無理やり戦争に巻き込まれ、友軍との協力もうまくいかないまま国民の命を危険に晒さない努力をする事より大事な事なのか、と。

クマタツ物語 3月9日

カテゴリ **エッセイ (44)** **左文字(エッセイ)を click してください。**

「鹿児島市電 上町線の思い出」は2012年6月に書いたものだ。

当時はワードで書いたエッセイなどフロッピーディスクに保存していたが、世の中が USB カードなどに移っていく中で、フロッピーは新しいパソコンでは使えなくなっていった。それでも必要に迫られて「外付け」のフロッピーディスクドライブを買って使っていたが、それも故障しお手上げの状態になった。

そのため、印刷していないエッセイは今は見ることができない。

このエッセイはブロ友だった今は亡き「やまもさん」からの依頼があって「やまもの部屋」の「月下推敲」に投稿したもので、そこにしか残っていなかった。今回そこから逆に戻す形でここに再現した。

これを書いてから既に10年近く経っているので、ここに書いた街の様子などは様変わりしているところもあるがあえてそのまま書



いた。また、新設の電車路線の計画も10年経った現在も暗中模索のようである。

(下の写真は廃線となった「鹿児島市電 上町線 岩崎谷の高架線上を桜島をバックに市電」)

しゅうさん撮影1985, 9, 29

3月16日 八期会 今秋？東京会合



大石さん 久しぶりです。

リハビリ、要支援②から ①になり 週一回リハビリ受けています。

右足膝の動脈瘤処置について、4月末に 関西医科大で3ヶ月経過診察予定

しており、CT スキャンなど 精密検査し、どうするか主治医が決める予定です。5月初旬には 結果が出て、参加可能かどうか 決める予定です。

今のところ、杖なしに ウォーキングできるようになりました。痛みもあまり感じません。そのような状況ですので、西山さんの方へは連絡しております。

前回は、小人数での集まりでしたので、良い集まりで、楽しく過ごしました。

今秋は、いろんな面で 参加者も増えそう？あなた、西山さん 幹事さんは たいへんな気苦労されることと思います。

年齢的にも 米寿企画を前倒しし、今秋に…とベストな考えと思います。

もう、何時どうなっても 構わないという高齢者になってきております。

どのような 企画されるのか 分かりませんが？ 夕食会主体で お昼の散策は 希望者のみにして、歩くのに不自由のない人たちに、十人以下？の小人数グループに しないと幹事さんがたいへんと思います。

前回は 幹事さんが たいへんだったと思います。 着物姿と歩くスピードも差があり、まとまって歩くということが 難しくなってきました。幹事さん たいへんと思いますが、よろしく

こんにちは♪



八期 LINE も下池さんのかごしま弁の投稿が消えて寂しくなりました。

LINE を眺めているだけでも「ある日突然」は茶飯事のこのごろですネ。

一時心配してましたけど、さすが病の克服策を心得ておられるのか、伝わってくることはただですけど順調のようですネ。

秋にはたぶんこのようなまとまりでは最後になる東京での集まり、守備よくラストメモリー成功させたいですネ。

終わったら続いて昨年アクシデントで実現しなかった東北旅②上手く言ったら隈元氏と『ふたり旅』に繋がりたいと思っています。

西山さんも元気そうで、週2度くらいの割で電話が来ます。

LINE で連絡出来る人(それも時々でもトークする)だけの集まり(多くて20名以内)集まって3355おしゃべりして終わり。濱崎くんが久しぶりの参加なので最初の挨拶だけは…

そう西山さんには言っていますが、ちょっと今の段階から、書いている文とは裏腹に次々とヒートアップしていきそうで気になっています。

そのうち西山さんに電話でもして慰労されませんか？ゆっくりした時間ある時に限ります。



大石さん

早々に 返信頂き有難うございます。事情 よくわかりました。

前回は 話題にも上らず 楽しい旅が出来ました。

この話は 微妙な問題なので LINE には 流せません。 パソコンメールか 電話連絡です。

事情が 分かっている人たちだけのことで、他言無用の扱いです。

折角の企画を うまく 楽しい企画にしたいと願望しています。

この件、西山さんには、 私が参加できるようになった時点で 電話連絡します。

今では 西山さんとの LINE で 連絡合っています。

よろしく

木場 祥雄

木佐貴です！



大石くん、連絡ありがとう。

同窓会ゴルフコンペの件は益崎君や市来龍作君と連絡取り合い、益崎君と参加することになりました。市来君は未定です。

先日も知覧カントリーで、益崎君とプレーしてきました。

こちらにも数人玉龍同窓生がおりますので、連絡しておきます。

ところで、東京行きとありますが、初耳？ いつごろの話でしょうか。

小生のチェックミスでしようが、再度連絡ください。日にちにもよりますが、できれば参加したいと思います。

木佐貴

3月15日



少し春めいてまいりましたが ご健勝にお過ごしのことと存じます

さて、添付ファイル記載にありますように

『ライン「玉龍八期会」』メンバーのみなさまへ 案内を致しております。

詳細は、添付ファイルをご参照ください。

貴君はメンバーではないようですので、後で、

そのようなことがあったのかということ为了避免するために案内申し上げます。

メンバー以外では、メールアドレスを知る限りの方々にこのようなメールを差し上げています。

以後のことに就きましては添付ファイルをご参照戴ければ幸いです

用件のみにて失礼します。

15日



西山さん、堀添です。

ご連絡をありがとうございます。さらに、返事を出していないようで、申し訳ありません。

これが返事です。

2023年10月の冠動脈バイパス手術後、極端な低塩食を指示されていまして、外食はほぼできない状態です。さらに、連絡手段は一般電子メールだけで、ラインにも加入していません。

というわけで、参加しませんので、よろしく願いいたします。皆さんには、よろしくお伝えください。

手術前なら、中華といえば、すぐに参加していたのですが、残念。



00_250315 『ライ
ン「玉龍八期会」』メン



00_250307 『ライ
ン「玉龍八期会」』メン

3月16日

メール送付の際、西山レポートと一緒に添付します。

堀添さん



おはようございます。

早速の返信メールありがとうございます。

大手術をなされ、事後も極端な食事制限とのこと、

大変なご苦勞をなさっていることと推察申し上げます。

生きてさえおれば、またいつか会える日が訪れます。頑張ってください！！

玉龍八期会 LINE3月末のトーク集

大石

クルマ中からたまたま信号待ちで懐かしい長田中の校門前からシャッター切った。

安倍

大石さんありがとう！

昔の面影は、ありませんね。

こんなに、りつぱな、校門。

こちらは、とても、冷たい雨が降っています



西山

なかなかいい写真ですね。ありがとうございます。
久しぶりに見ました。ありがとうございます。

上山

大石さん

長田中学校 創立 77

周年になるのですか

私たちは何年卒になりますやら？

私たちが通ってたころの長田中はマンモス校で、
確か 1 学年に

クラス以上あったような？

校歌教えて下さい

大竜小と玉龍高校の校歌は今でも歌えます。



大石

昭和 30 年卒？と思います。1年の時ぼくは確か 7 組だった気がします。横須先生。

校歌はあまり歌わなかった！? 誰か詳しい人いるのでは？

昼休みは相撲取ったり、馬乗り？したり…

森

私は3年の時7組で横須先生、柔道家の厳しい先生でした

上山

森さん

長田中校歌ありがとうございます。

素晴らしい歌詞ですね！

でもメロディーが全然思い出せません。

中学校で歌っていたのでしょうか？

私は三年生の時

担任は英語の三島先生でした。



上山より森さんへ

長田中学校歌ありがとうございます。

素晴らしい歌詞ですね！

でもメロディーが全然思い出せません。

中学校で歌っていたのでしょうか？

私は三年生の時

担任は英語の三島先生でした。

唄あり

西山

さすが、森繁、なんでも博物館館長のコレクションからピックアップしてお届けとは素晴らしい森繁さんありがとうございます。

森

今は小学校、中学校とも2クラスしかありません。少子化の影響でしょうね。

大畑寛子

こんにちは♪ 奈良の 大畑、「大津」

です。私も7組の横須先生でした。

確か8組までであったと思います。

校歌は歌詞は覚えていませんが、メ

ロディ  は記憶にありました。

草野さん、森さん

市木さん 思い出します。

ごめんなさい  市来さんでした。

森

沿革

1947年(昭和22年) - 鹿児島市立第三中学校として設置[2]。

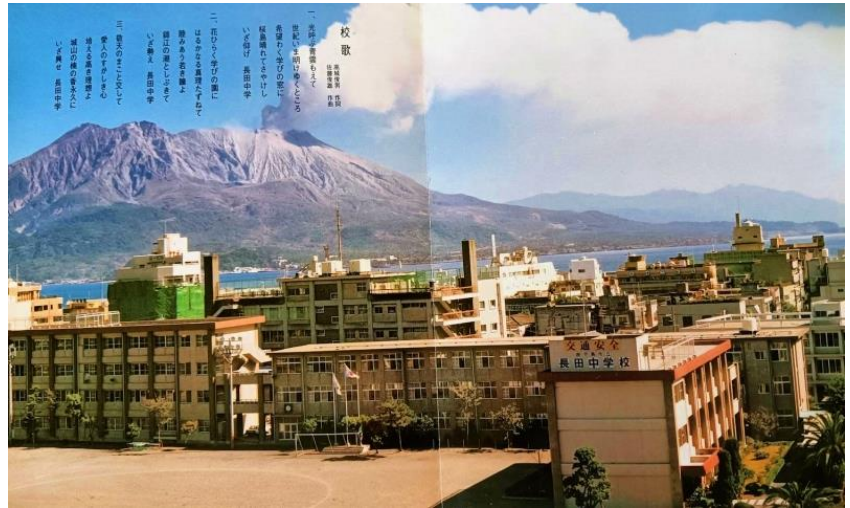
1949年(昭和24年) - 鹿児島市立長田中学校に改称。

1992年(平成4年) - 男子生徒の頭髪自由化。

市内の中学校で一番早く丸刈りを廃止したそうです

典子

あの辺りの前を歩きで木市迄行きました。



【編集後記】

今月もちょうどと言うか？ギリギリと言うか？もっとも、森くん「八期桜」はぎりぎりの時でいいよ！出来れば桜満開を載せたい！と頼んでいたので予定とおりと言うことかもしれません。今号、ラストはやはり、望郷もの…で終わりました。清水中の卒業生には申し訳ありませんでした。たまたまの結果で意図するものはありませんので悪しからず…今月はこれにて。大石ケイジ 3月31日(月)



